

公民館の地域社会における役割を明らかにするとともに、社会教育の原理および公民館の事業展開上に必要な基礎的知識技能を習得させる。

(2) 期日および場所

昭和43年6月19日～22日(3泊4日)、国立磐梯青年の家

(3) 対象 公民館職員 70名

(4) 講師・助言者

講師 福島大学教育学部教授 古竊安好
福島県教育庁社会教育課長 佐藤正義
福島県企画開発部統計課主査 塩原清美

助言者 社会教育課員、教育事務所社会教育担当者

(5) 研修内容

① 講義

- 現代における地域社会の特質と社会教育の課題
- 集団参加の心理

② 研究討議(問題提起)

- 公民館訪問にあらわれた公民館の諸問題
- 公民館事業の企画と展開
- 社会教育資源の活用について

③ 研究協議

- 公民館当面の問題と公民館職員の職務
- 統計図表について(見方・考え方)

④ 演習

- レクリエーションの理論と実際(フォークダンス、その他)
- フィルムフォーラムの実際

(6) 効果

経験年数5年未満の公民館職員を対象とした研修会であったが、研究討議の中から社会教育の現場における切実な悩みや意欲がじゅうぶんにみなぎっており、公民館の事業展開上の諸問題・公民館の適正配置・施設や職員の問題が多く討議され、公民館事業推進上大きな効果があった。

9. 公民館長研修会

(1) 目的

当面する社会教育の課題と公民館の役割を明らかにするとともに、地域社会の分析、社会的資源の活用等公民館運営に必要な専門的知識および態度を習得させる。

(2) 期日および場所

昭和43年7月4日～6日(2泊3日) 飯坂町婦人会館

(3) 参加者 公民館長 100名

(4) 講師・助言者

講師 文部省社会教育局社会教育課長 林部一二
NHK福島放送局 栗原貢
福島県教育庁社会教育課長 佐藤正義

助言者 福島県教育庁社会教育課員

(5) 研修内容

① 講演

- 公民館を中心とする社会教育行政当面の諸問題
- 当面の政局と国際情勢

② 分科会

- 農山村部会
農村における生活構造の変化と公民館の運営
- 都市部会

都市における地域住民の生活課題と公民館の役割

③ 研究協議

- 社会教育行政と公民館をめぐる諸問題

(6) 効果

公民館長研修会は、第2回目を迎えたのであるが、本年度は文部省社会教育課長を講師とし、社会教育行政と公民館の役割についての講演があり、参加者に多大の感銘を与えた。分科会や全体討議の中では過疎・過密の社会的現象に対応する公民館のあり方について、じゅうぶん論議がつくされ、一つの方向を見出したと考える。

10. 視聴覚教育研究大会

(1) 目的

社会教育の展開の上に、視聴覚教材の利用の現状を検討し、さらに教材を利用しやすいようにするにはどうしたらよいかを検討する。

(2) 日時および場所

昭和43年9月13日～14日 白河中央公民館

(3) 講師

福島県立猪苗代高等学校長 藤井勇

(4) 参加者

公民館職員、社会教育主事
視聴覚ライブラリー関係者

(5) 研究内容

- ・地域視聴覚ライブラリーの組織運営のとりくみ方
- ・公民館活動にとり入れるべき視聴覚教材の検討
- ・有線放送などの施設を利用した地域放送教育について

(6) 効果

昨年までは、学校教育・社会教育の共催で実施してきたのであるが、本年度から社会教育関係者だけにしぼり、県公民館連絡協議会の主催で開催された事業である。

参加者の熱心な討議によって、社会教育における視聴覚教材の課す役割が再認識され、今後の公民館における視聴覚教材の活用が大いに期待される。

11. 県地域視聴覚ライブラリー研究会 (教育映画祭)

(1) 趣旨

教育施設として、充実した地域視聴覚ライブラリーにするための方策の研究とライブラリーの管理運営の研究をするとともに、本年度教育映画祭最高賞受賞映画の鑑賞をする。

(2) 期日および会場

昭和43年6月7日～8日 白河市民館

(3) 参加者

地域視聴覚ライブラリー関係者
市町村社会教育主事、公民館職員

(4) 講師

宮城県教育庁社会教育課 内海貞太郎

(5) 研究内容

- 主 題 地域視聴覚ライブラリーの振興をはかるにはどうすればよいか。
- 協議題 地域視聴覚ライブラリーの管理運営と視聴覚